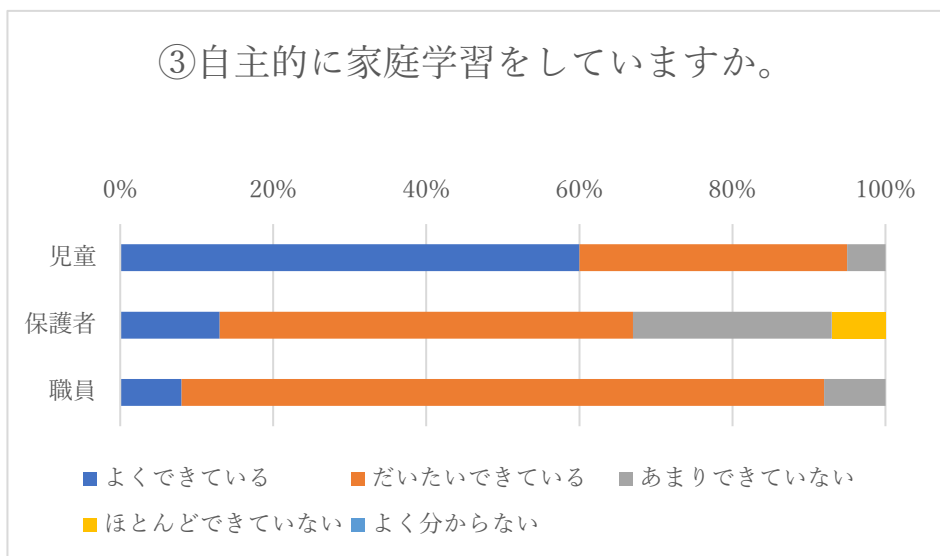
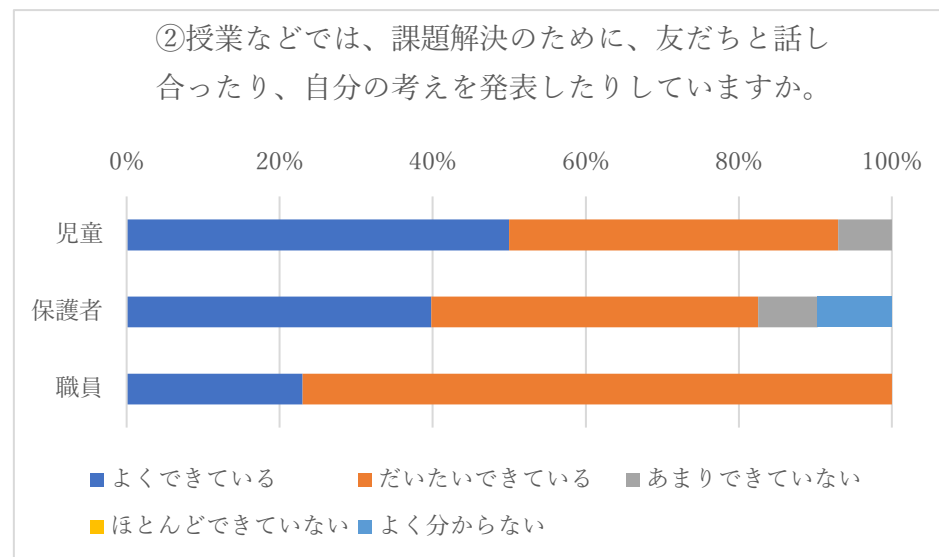
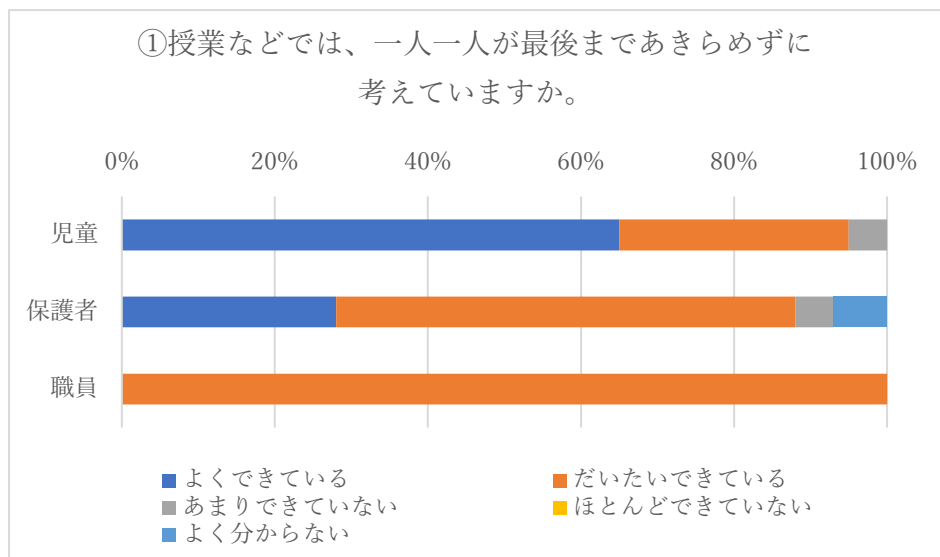


令和5年度 学校評価アンケート結果

【自ら考え、進んで学ぶ子ども】 (児童・職員・保護者) 比較



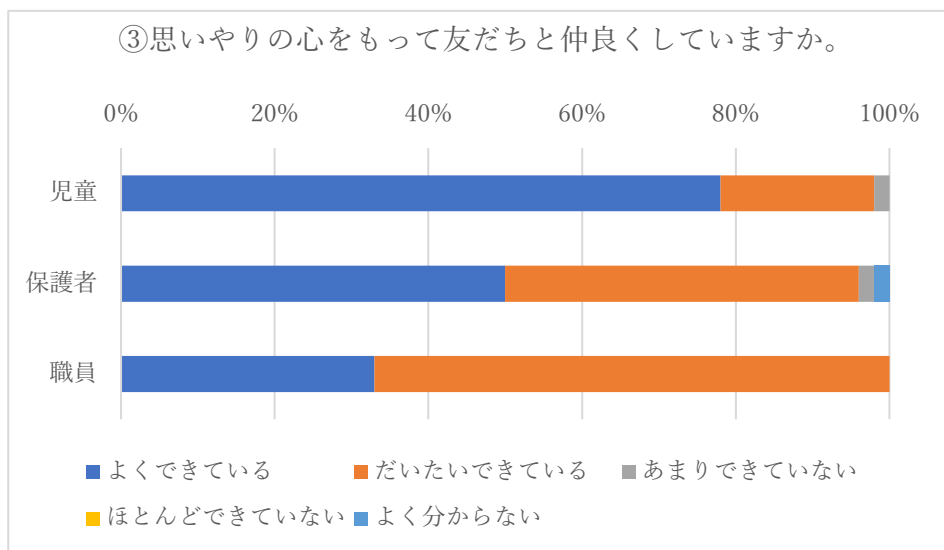
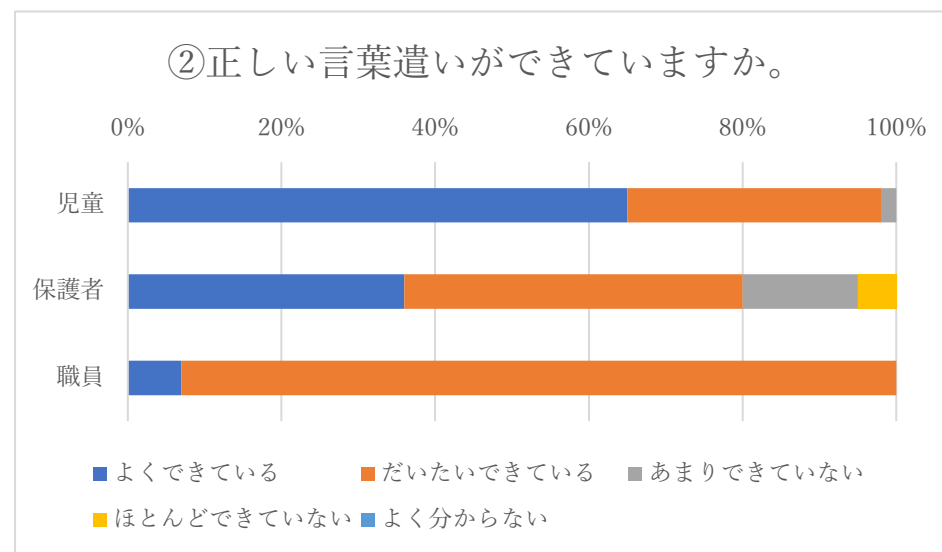
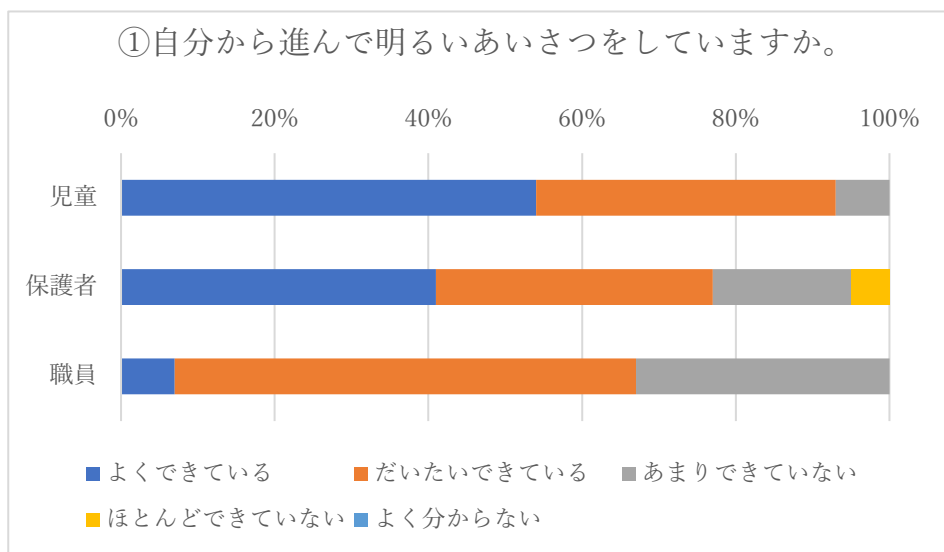
《考察》

- ①と②は、「できている」が80%を上回っている。児童は、授業中に考えたり話し合ったりなど、主体的に学習に取り組んでいると言える。
- ③の家庭学習については、保護者の33%が「できていない」と答えている。児童と保護者・職員との意識の差が大きい。

《対策》

- 今後も、「自ら考え、進んで学ぶ子ども」の育成のために、教職員一人一人が授業改善を図っていく。
- 家庭学習は、児童に自ら学習をコーディネートできる力を身に付けさせる取組について研究を重ねていくと共に、保護者と連携して取り組んでいく。

【共感し、思いやりをもって行動できる子ども】 (児童・職員・保護者) 比較



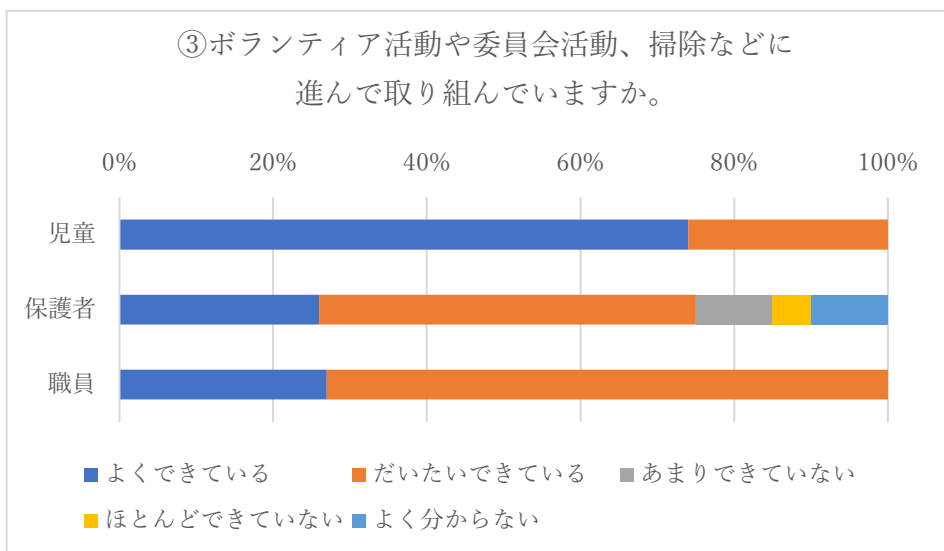
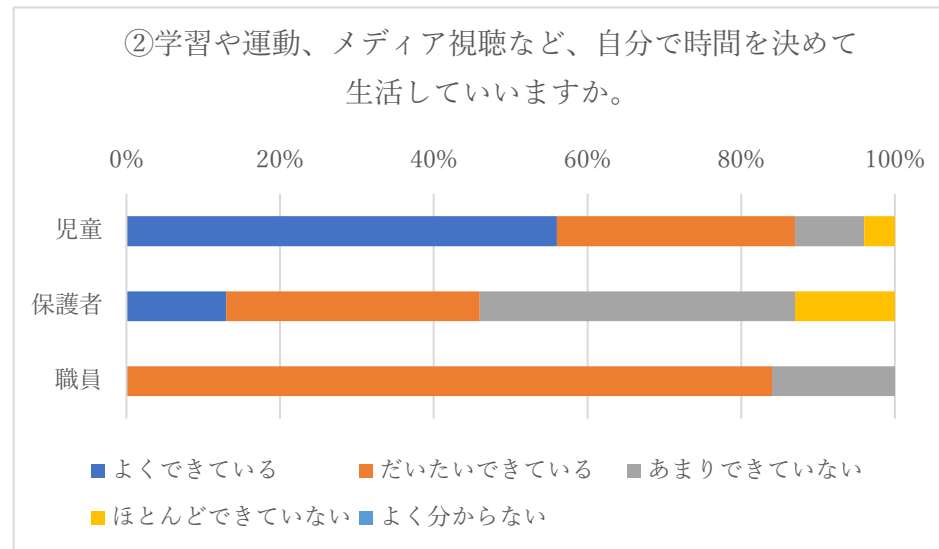
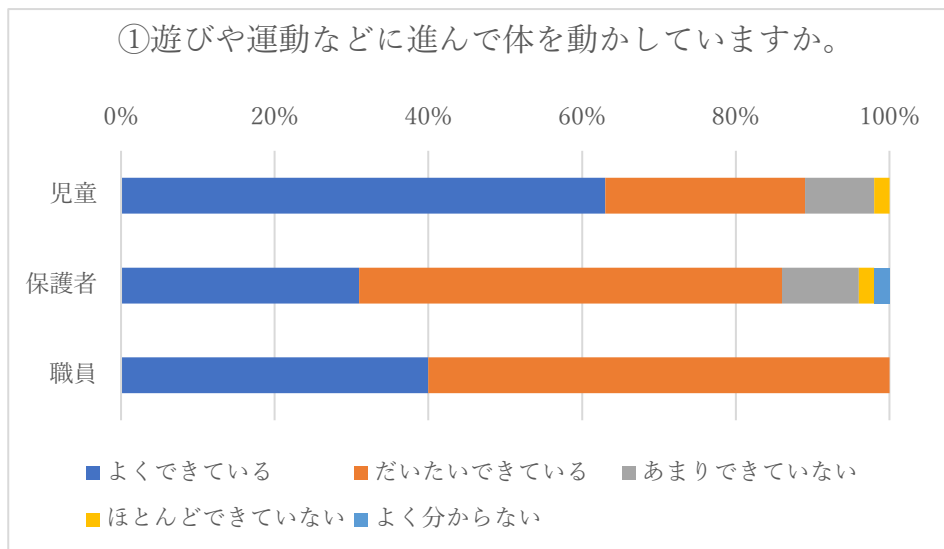
《考察》

- ・①の「自分から進んであいさつ」については、児童は「できている」と思っているが、職員と保護者の「できている」は80%を下回った。学校では、特に休日明けの月曜日など、元気な挨拶ができない。また、保護者や地域の方への挨拶ができないという声もあった。
- ・②と③の結果から、児童は正しい言葉遣いができ、思いやりをもって仲良く生活できていると言える。

《対策》

- ・職員が進んで明るい挨拶をすることで手本を示すと共に、挨拶することのよさを伝えていく。また、家庭の協力も必要である。家族間でも明るい挨拶ができるように呼びかけると共に、PTA交通安全指導時に挨拶についての気づきをあげてもらい、その後の指導につなげていく。

【からだをきたえ、進んで働く子ども】 (児童・職員・保護者) 比較



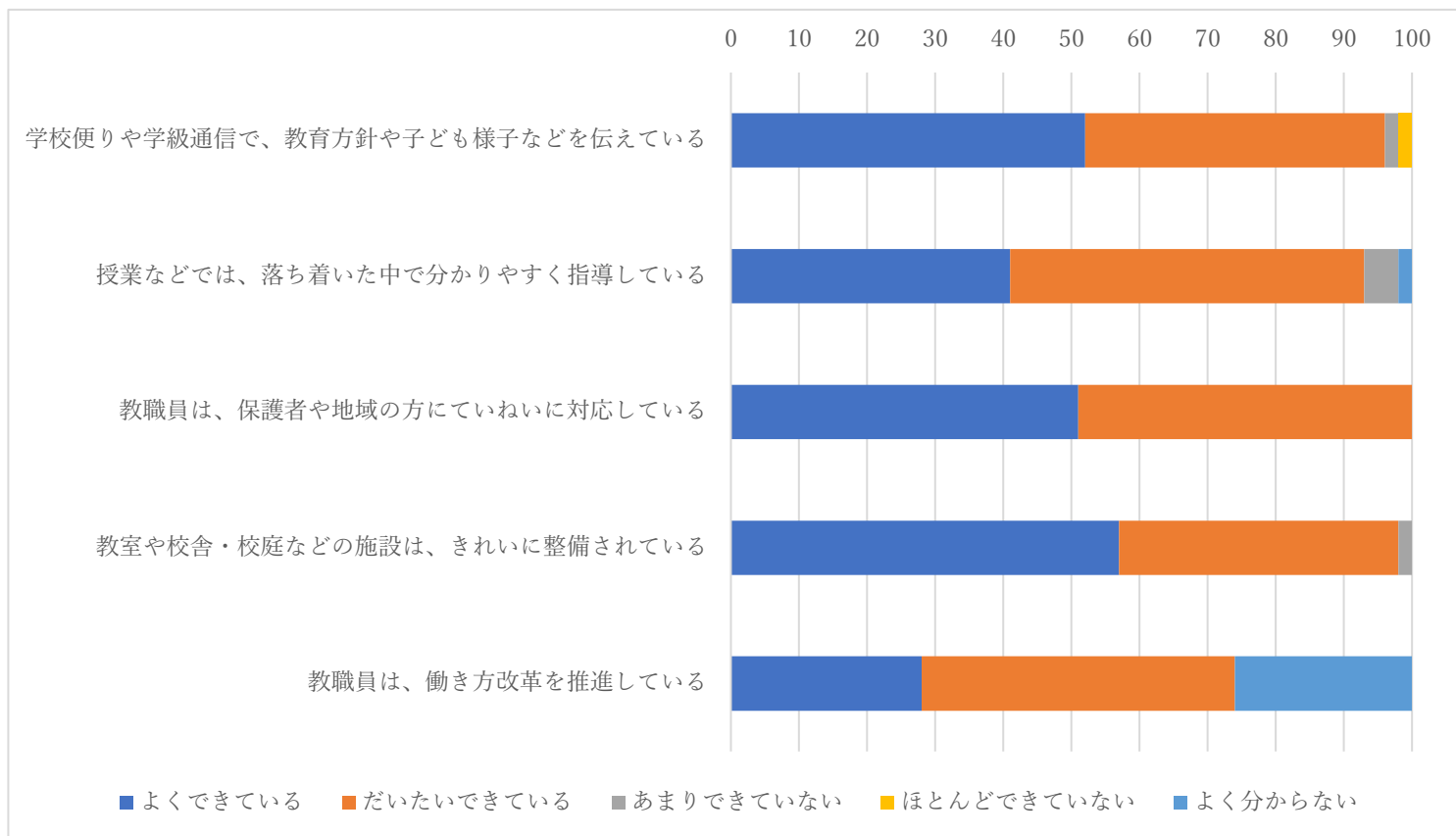
《考察》

- ①から、個人差はあるが、児童は進んで体を動かしていると言える。昼休み時間も外で遊ぶ児童が増えている。
- ②の保護者の結果から、半分以上の児童は、家庭で学習や運動、メディア視聴などの時間を決めて生活していないことが分かる。高学年になるほどメディア視聴時間が増加している傾向にある。
- ③は、保護者の10%が「よく分からない」と答えている。情報発信ができていなかったと考える。

《対策》

- 今後も、学校では、道徳や学活等でメディアの正しい活用について指導を行う。家庭の協力も必要であるので、「生活リズムチェック週間」を継続して取り組んでいき、連携して児童の生活の見直しや改善を促していく。
- ボランティア活動や委員会活動等については、学校便り等の通信で情報を発信していく。

【学校の取組について】 (保護者)



《考察》

- 学校の取組については、多くの保護者が「できている」と答えている。特に、「保護者や地域の方にていねいな対応ができている」は、高評価であった。
- 教職員の働き方改革については、「よく分からない」と答えている保護者が26%いた。
- 今の久米小学校の満足度については、92%の保護者が「満足している」と答えているが、8%の保護者は少し不満を持っていることが分かった。

《対策》

- 今後も、学校の教育方針や児童の様子を中心に学校の取組について、学校便りや学級通信で発信していくと共に、PTA活動や学校行事等のあらゆる場面でも伝えていく。特に、働き方改革については、情報発信に努める。
- これからも一人一人の児童や保護者、地域の方々の声をしっかり聞きながら、思いに寄り添い、ていねいな対応に努めていく。

